2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	柔道整復スポーツトレーナー学科		科 目 区 分	その他	授業の方法	演 習
科 目 名	テーピング		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	1 (30) 時間(単位)
対 象 学 年	1年生		学期及び曜時間	前期 火・2限	教室名	実技実習室2
担 当 教 員	奥出 一貴	実務経験とその関連資格	柔道整復師、柔道整復師専科教員 NSCA-CPT、赤十字救急法指導員			
《授業科目における学習内容》						
テーピングはスポーツトレーナーや柔道整復師が応急処置、外傷予防、再発防止などスポーツ現場にて必要なスキルである。						
《成績評価の方法と基準》						
定期試験:70点 出席点:20点 平常点:10点						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト6 予防とコンディショニング 配布プリント						
《授業外における学習方法》						
テキストや配布プリントをよく読んで理解する。 技術は回数をこなすことにより習得することができるので、授業外での練習を自主的に行うようにする。						
《履修に当たっての留意点》						
授業内での練習時間は限られているため、1回1回を集中して講義に挑み、授業外での自主的な練習を行ってほしい						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	演習形式	授業を通じての到達目標	テーピングの目的や効果について理解することができるようになる。 アンダーラップの目的を理解し行うことができるようになる。	公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト6 予防とコンディショニング	テキストや配布プリントを読み込んで理解し、授業内で学習した内容を繰り返し練習して習得できるようにしておく。	
	各コマにおける授業予定	オリエンテーション テーピング総論(目的・効果・種類・特徴・各種技法) アンダーラップ				
第2回	演習形式	授業を通じての到達目標	足関節捻挫について理解することができるようになる。 各種技法を理解し、内反捻挫に対するテーピングを行うことができるようになる。	公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト6 予防とコンディショニング	テキストや配布プリントを読み込んで理解し、授業内で学習した内容を繰り返し練習して習得できるようにしておく。	
	各コマにおける授業予定	足関節捻挫に対するテーピング (アンカー、スターアップ、ホースシュー、サーキュラー、フィギュアエイト、ヒールロック)				
第3回	演習形式	授業を通じての到達目標	足関節捻挫について理解することができるようになる。 各種技法を理解し、内反捻挫に対するテーピングを行うことができるようになる。	公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト6 予防とコンディショニング	テキストや配布プリントを読み込んで理解し、授業内で学習した内容を繰り返し練習して習得できるようにしておく。	
	各コマにおける授業予定	足関節捻挫に対するテーピング (アンカー、スターアップ、ホースシュー、サーキュラー、フィギュアエイト、ヒールロック)				
第4回	演習形式	授業を通じての到達目標	クローズ・バスケットウィーブ、オープン・バスケットウィーブについて使用用途を理解し、行うことができるようになる。	公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト6 予防とコンディショニング	テキストや配布プリントを読み込んで理解し、授業内で学習した内容を繰り返し練習して習得できるようにしておく。	
	各コマにおける授業予定	足関節捻挫に対するテーピング (クローズ・バスケットウィーブ、オープン・バスケットウィーブ)				
第5回	演習形式	授業を通じての到達目標	クローズ・バスケットウィーブ、オープン・バスケットウィーブについて使用用途を理解し、行うことができるようになる。	公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト6 予防とコンディショニング	テキストや配布プリントを読み込んで理解し、授業内で学習した内容を繰り返し練習して習得できるようにしておく。	
	各コマにおける授業予定	足関節捻挫に対するテーピング (クローズ・バスケットウィーブ、オープン・バスケットウィーブ)				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	演習形式	授業を通じての到達目標	足関節の底屈制限、屈曲制限のテーピングの技法を理解し、行うことができるようになる。	公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト6 予防とコンディショニング	テキストや配布プリントを読み込んで理解し、授業内で学習した内容を繰り返し練習して習得できるようにしておく。
		各コマにおける授業予定	足関節背屈制御、底屈制御のテーピング		
第7回	演習形式	授業を通じての到達目標	足関節の各種技法について理解し、より速く、正確に行うことができるようになる。	公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト6 予防とコンディショニング	テキストや配布プリントを読み込んで理解し、授業内で学習した内容を繰り返し練習して習得できるようにしておく。
		各コマにおける授業予定	足関節テーピング復習、まとめ		
第8回	演習形式	授業を通じての到達目標	アーチの構造を理解し、アーチサポートのテーピングを行うことができるようになる。	公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト6 予防とコンディショニング	テキストや配布プリントを読み込んで理解し、授業内で学習した内容を繰り返し練習して習得できるようにしておく。
		各コマにおける授業予定	足部のテーピング (アーチサポートのテーピング)		
第9回	演習形式	授業を通じての到達目標	足趾(母趾)の伸展・屈曲制限のテーピングが行うことができるようになる。	公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト6 予防とコンディショニング	テキストや配布プリントを読み込んで理解し、授業内で学習した内容を繰り返し練習して習得できるようにしておく。
		各コマにおける授業予定	足趾のテーピング		
第10回	演習形式	授業を通じての到達目標	シンスプリントについて理解し、シンスプリントに対するテーピングを行うことができるようになる。	公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト6 予防とコンディショニング	テキストや配布プリントを読み込んで理解し、授業内で学習した内容を繰り返し練習して習得できるようにしておく。
		各コマにおける授業予定	下腿部のテーピング		
第11回	演習形式	授業を通じての到達目標	下腿三頭筋の筋挫傷について理解し、下腿三頭筋挫傷に対するテーピングを行うことができるようになる。	公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト6 予防とコンディショニング	テキストや配布プリントを読み込んで理解し、授業内で学習した内容を繰り返し練習して習得できるようにしておく。
		各コマにおける授業予定	下腿部のテーピング		
第12回	演習形式	授業を通じての到達目標	膝関節内側・外側側副靭帯損傷について理解し、側副損傷に対するテーピングを行うことができるようになる。	公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト6 予防とコンディショニング	テキストや配布プリントを読み込んで理解し、授業内で学習した内容を繰り返し練習して習得できるようにしておく。
		各コマにおける授業予定	膝関節のテーピング (側副靭帯損傷に対するテーピング)		
第13回	演習形式	授業を通じての到達目標	膝関節前十字靭帯損傷について理解し、前十字靭帯損傷に対するテーピングを行うことができるようになる。	公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト6 予防とコンディショニング	テキストや配布プリントを読み込んで理解し、授業内で学習した内容を繰り返し練習して習得できるようにしておく。
		各コマにおける授業予定	膝関節のテーピング (前十字靭帯損傷に対するテーピング)		
第14回	演習形式	授業を通じての到達目標	膝関節の復習を行い、より正確に早くテーピングを行うことができるようになる。	公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト6 予防とコンディショニング	テキストや配布プリントを読み込んで理解し、授業内で学習した内容を繰り返し練習して習得できるようにしておく。
		各コマにおける授業予定	膝関節のテーピング (側副靭帯損傷、前十字靭帯損傷の復習)		
第15回	演習形式	授業を通じての到達目標	前期学習内容の復習を行い、各種技法のテーピングをより速く、正確に巻くことができるようになる。	公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト6 予防とコンディショニング	テキストや配布プリントを読み込んで理解し、授業内で学習した内容を繰り返し練習して習得できるようにしておく。
		各コマにおける授業予定	前期学習内容の復習		

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	柔道整復スポーツトレーナー		科 目 区 分	その他	授業の方法	講義
科 目 名	トレーニング I		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	1年生		学期及び曜時間	前期	教室名	302教室
担 当 教 員	生田晶子	実務経験と その関連資格	健康運動指導士, NSCA-CPT			
《授業科目における学習内容》						
トレーニング指導者として必要な知識を学び理解する。						
《成績評価の方法と基準》						
素点 70% 出席評価点 20% 平常評価点 10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
健康運動実践指導者養成テキスト Reference Book(日本スポーツ協会) JATIテキスト(実技編) 配布資料						
《授業外における学習方法》						
テキストを精読する。 定期的に提示する課題に対してレポート作成、授業時に発表してもらいます。						
《履修に当たっての留意点》						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	トレーニング(体力)について理解し説明出来るようになる	健康運動実践指導者養成テキスト JATIテキスト(実技編)	予めテキストに目を通しておき、不明なワードに対してはインターネット等にて確認しておく	
		各コマにおける授業予定	トレーニングとは 体力とは			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	自体重を利用したレジスタンストレーニングについて理解し説明出来るようになる	健康運動実践指導者養成テキスト Reference Book (日本スポーツ協会)	予めテキストに目を通しておき、不明なワードに対してはインターネット等にて確認しておく	
		各コマにおける授業予定	レジスタンストレーニング 自体重①			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	自体重を利用したレジスタンストレーニングについて理解し説明出来るようになる	健康運動実践指導者養成テキスト Reference Book (日本スポーツ協会)	予めテキストに目を通しておき、不明なワードに対してはインターネット等にて確認しておく	
		各コマにおける授業予定	レジスタンストレーニング 自体重②			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	アイソメトリックトレーニングについて理解し、説明、指導が出来るようになる。	健康運動実践指導者養成テキスト Reference Book (日本スポーツ協会)	予めテキストに目を通しておき、不明なワードに対してはインターネット等にて確認しておく	
		各コマにおける授業予定	レジスタンストレーニング アイソメトリック①			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	アイソメトリックトレーニングについて理解し説明出来るようになる	健康運動実践指導者養成テキスト Reference Book (日本スポーツ協会)	予めテキストに目を通しておき、不明なワードに対してはインターネット等にて確認しておく	
		各コマにおける授業予定	レジスタンストレーニング アイソメトリック②			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	セラバンド・チューブを使ったトレーニングについて理解し説明できるようになる	健康運動実践指導者養成テキスト Reference Book (日本スポーツ協会)	予めテキストに目を通しておき、不明なワードに対してはインターネット等にて確認しておく
		各コマにおける授業予定	レジスタンストレーニング セラバンド・セラチューブ①		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	バランスボール・バランスディスクを使ったトレーニングについて理解し説明出来るようになる	健康運動実践指導者養成テキスト Reference Book (日本スポーツ協会)	予めテキストに目を通しておき、不明なワードに対してはインターネット等にて確認しておく
		各コマにおける授業予定	レジスタンストレーニング バランスボール・ディスク②		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	セラバンド・チューブ、バランスボール・バランスディスクを使ったトレーニングを説明することが出来るようになる	健康運動実践指導者養成テキスト Reference Book (日本スポーツ協会)	予めテキストに目を通しておき、不明なワードに対してはインターネット等にて確認しておく
		各コマにおける授業予定	レジスタンストレーニング セラバンド・チューブ/バランスボール・ディスク②		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	マシントレーニングについて理解し説明することが出来るようになる	健康運動実践指導者養成テキスト Reference Book (日本スポーツ協会)	予めテキストに目を通しておき、不明なワードに対してはインターネット等にて確認しておく
		各コマにおける授業予定	レジスタンストレーニング マシン①		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	フリーウエイトについて理解し説明することが出来るようになる	健康運動実践指導者養成テキスト Reference Book (日本スポーツ協会)	予めテキストに目を通しておき、不明なワードに対してはインターネット等にて確認しておく
		各コマにおける授業予定	レジスタンストレーニング フリーウエイト①		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	フリーウエイトについて理解し説明することが出来るようになる	健康運動実践指導者養成テキスト Reference Book (日本スポーツ協会)	予めテキストに目を通しておき、不明なワードに対してはインターネット等にて確認しておく
		各コマにおける授業予定	レジスタンストレーニング フリーウエイト②		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	フリーウエイトについて理解し説明することが出来るようになる	健康運動実践指導者養成テキスト Reference Book (日本スポーツ協会)	予めテキストに目を通しておき、不明なワードに対してはインターネット等にて確認しておく
		各コマにおける授業予定	レジスタンストレーニング フリーウエイト③		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	パワートレーニングについて理解し説明することが出来るようになる	健康運動実践指導者養成テキスト Reference Book (日本スポーツ協会)	予めテキストに目を通しておき、不明なワードに対してはインターネット等にて確認しておく
		各コマにおける授業予定	レジスタンストレーニング パワー①		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	パワートレーニングについて理解し説明することが出来るようになる	健康運動実践指導者養成テキスト Reference Book (日本スポーツ協会)	予めテキストに目を通しておき、不明なワードに対してはインターネット等にて確認しておく
		各コマにおける授業予定	レジスタンストレーニング パワー②		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	各トレーニングについて理解し説明することが出来るようになる	健康運動実践指導者養成テキスト Reference Book (日本スポーツ協会)	総復習
		各コマにおける授業予定	総まとめ		

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	柔道整復スポーツトレーナー学科		科 目 区 分	その他	授業の方法	講義
科 目 名	運動生理学		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	1年		学期及び曜時間	前期 木3	教室名	302
担 当 教 員	松尾 起命	実務経験とその関連資格	柔道整復師免許(実務経験:4年)			
《授業科目における学習内容》						
生理学の復習						
《成績評価の方法と基準》						
素点:70% 出席評価点:20% 平常評価点:10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
生理学 改訂第4版 南江堂						
《授業外における学習方法》						
教科書に沿い、講義・国家試験に準じた復習を行う。 講義で使用した口頭試問問題・四択問題を解く。						
《履修に当たっての留意点》						
身体各所の繋がりがりや関係性も含めて説明ができるように理解すること。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	「生理学とは」の理解を深める。	生理学 改訂第4版	授業範囲の予習・復習	
		各コマにおける授業予定	オリエンテーション 細胞の構造と機能			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	「生理学とは」の理解を深める。	生理学 改訂第4版	授業範囲の予習・復習	
		各コマにおける授業予定	細胞の構造と機能			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	「生理学とは」の理解を深める。	生理学 改訂第4版	授業範囲の予習・復習	
		各コマにおける授業予定	細胞の構造と機能 組織・器官と生体の機能系			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	「生理学とは」の理解を深める。	生理学 改訂第4版	授業範囲の予習・復習	
		各コマにおける授業予定	生体の恒常性と統合機能 体液の区分と組成			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	「筋の生理」の理解を深める。	生理学 改訂第4版	授業範囲の予習・復習	
		各コマにおける授業予定	骨格筋			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	「筋の生理」の理解を深める。	生理学 改訂第4版	授業範囲の予習・復習
		各コマにおける授業予定	心筋 平滑筋		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	「神経の生理」の理解を深める。	生理学 改訂第4版	授業範囲の予習・復習
		各コマにおける授業予定	神経信号の伝達		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	「神経の生理」の理解を深める。	生理学 改訂第4版	授業範囲の予習・復習
		各コマにおける授業予定	神経系の構成		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	「神経の生理」の理解を深める。	生理学 改訂第4版	授業範囲の予習・復習
		各コマにおける授業予定	脳の高次機能		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	「神経の生理」の理解を深める。	生理学 改訂第4版	授業範囲の予習・復習
		各コマにおける授業予定	内臓機能の調整		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	「運動の生理」の理解を深める。	生理学 改訂第4版	授業範囲の予習・復習
		各コマにおける授業予定	運動の調節		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	「運動の生理」の理解を深める。	生理学 改訂第4版	授業範囲の予習・復習
		各コマにおける授業予定	運動神経と運動単位		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	「運動の生理」の理解を深める。	生理学 改訂第4版	授業範囲の予習・復習
		各コマにおける授業予定	脊髄による反射とその調節		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	「運動の生理」の理解を深める。	生理学 改訂第4版	授業範囲の予習・復習
		各コマにおける授業予定	脳幹による運動調節		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	「運動の生理」の理解を深める。	生理学 改訂第4版	授業範囲の予習・復習
		各コマにおける授業予定	高次運動機能		

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	柔道整復スポーツトレーナー		科 目 区 分	その他	授業の方法	講義実習
科 目 名	健康エクササイズ I		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	1年生		学期及び曜時間	前期	教室名	実習室
担 当 教 員	生田晶子	実務経験と その関連資格	健康運動指導士、NSCA-CPT			
《授業科目における学習内容》						
健康運動実践指導者として、運動指導現場に必要な知識と技術を学び理解する。						
《成績評価の方法と基準》						
素点 70% 出席評価点 20% 平常評価点 10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
健康運動実践指導者養成テキスト Reference Book(日本スポーツ協会) NSCA パーソナルトレーナーのための基礎知識 配布資料						
《授業外における学習方法》						
テキストを精読し、テキストにあるトレーニング例を予習復習として実施する						
《履修に当たっての留意点》						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第 1 回	講義 形式	授業を 通じての 到達目標	健康運動指導を行うためのに体力測定や評価を行う。	・健康運動実践 指導者養成テキ スト ・配布資料	テキストを精読する。	
		各コマに おける 授業予定	第5章 体力測定と評価			
第 2 回	講義 形式	授業を 通じての 到達目標	ウォーミングアップの実際について理解する。	・健康運動実践 指導者養成テキ スト ・配布資料	テキストを精読する。	
		各コマに おける 授業予定	ウォーミングアップ①体験			
第 3 回	実習 形式	授業を 通じての 到達目標	ウォーミングアップを実践指導することができるようになる。	・健康運動実践 指導者養成テキ スト ・配布資料	テキストを精読する。	
		各コマに おける 授業予定	ウォーミングアップ②実践			
第 4 回	実習 形式	授業を 通じての 到達目標	作成したウォーミングアッププログラムを指導できるようになる。	・健康運動実践 指導者養成テキ スト ・配布資料	テキストを精読する。	
		各コマに おける 授業予定	ウォーミングアップ プログラム作成/指導			
第 5 回	実習 形式	授業を 通じての 到達目標	クーリングダウンの実際について理解する。	・健康運動実践 指導者養成テキ スト ・配布資料	テキストを精読する。	
		各コマに おける 授業予定	クーリングダウン①体験			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	実習形式	授業を通じての到達目標	クーリングダウンを実践指導することができる。	・健康運動実践指導者養成テキスト ・配布資料	テキストを精読する。
		各コマにおける授業予定	クーリングダウン②実践		
第7回	実習形式	授業を通じての到達目標	作成したクーリングダウンのプログラムを指導できるようになる。	・健康運動実践指導者養成テキスト ・配布資料	テキストを精読する。
		各コマにおける授業予定	クーリングダウンプログラム作成／指導		
第8回	実習形式	授業を通じての到達目標	ストレッチングの実際について理解する。	・健康運動実践指導者養成テキスト ・配布資料	テキストを精読する。
		各コマにおける授業予定	ストレッチング①体験		
第9回	実習形式	授業を通じての到達目標	ストレッチングを実践指導することができるようになる。	・健康運動実践指導者養成テキスト ・配布資料	テキストを精読する。
		各コマにおける授業予定	ストレッチング②実践		
第10回	実習形式	授業を通じての到達目標	作成したストレッチングのプログラムを指導できるようになる。	・健康運動実践指導者養成テキスト ・配布資料	テキストを精読する。
		各コマにおける授業予定	ストレッチングプログラム作成／指導		
第11回	実習形式	授業を通じての到達目標	ウォーキング、ランニングの実際について理解する。	・健康運動実践指導者養成テキスト ・配布資料	テキストを精読する。
		各コマにおける授業予定	ウォーキング① ランニング① 体験		
第12回	実習形式	授業を通じての到達目標	強度別のウォーキングを実際に体験しより理解を深めることができるようになる。	・健康運動実践指導者養成テキスト ・配布資料	テキストを精読する。
		各コマにおける授業予定	ウォーキング②実践		
第13回	実習形式	授業を通じての到達目標	強度別のジョギングを実際に体験しより理解を深めることができるようになる。	・健康運動実践指導者養成テキスト ・配布資料	テキストを精読する。
		各コマにおける授業予定	ジョギング②実践		
第14回	実習形式	授業を通じての到達目標	作成したウォーキング・ランニングのプログラムを実践指導することができる。	・健康運動実践指導者養成テキスト ・配布資料	テキストを精読する。
		各コマにおける授業予定	ウォーキング・ランニングプログラム作成／指導		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	健康運動指導を行うために必要なことを考えることができるようになる。	・健康運動実践指導者養成テキスト ・配布資料	既定時間内にウォーキングのポイントを説明しながら指導を行なうことができるように練習をする。
		各コマにおける授業予定	総まとめ		

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	柔道整復スポーツトレーナー		科 目 区 分	その他	授業の方法	講義実習
科 目 名	健康エクササイズ I		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	1年生		学期及び曜時間	前期	教室名	302教室 運生室
担 当 教 員	生田晶子	実務経験と その関連資格	健康運動指導士、NSCA-CPT			
《授業科目における学習内容》						
健康運動実践指導者として、運動指導現場に必要な知識と技術を学び理解する。						
《成績評価の方法と基準》						
素点 70% 出席評価点 20% 平常評価点 10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
健康運動実践指導者養成テキスト Reference Book(日本スポーツ協会) JATI養成者テキスト(実技編) 配布資料						
《授業外における学習方法》						
テキストを精読し、テキストにあるトレーニング例を予習復習として実施する						
《履修に当たっての留意点》						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第 16 回	授業を 通じての 到達目標	レジスタンスエクササイズの基本を理解する。		・健康運動実践 指導者養成テキ スト ・配布資料 ・教材付属DVD	・テキストを精読する。 教材付属DVDを熟覧す る。	
	各コマに おける 授業予定	レジスタンストレーニング 自体重トレーニング				
第 17 回	授業を 通じての 到達目標	アイソトニックトレーニングの基本を理解する。		・健康運動実践 指導者養成テキ スト ・配布資料 ・教材付属DVD	・テキストを精読する。 教材付属DVDを熟覧す る。	
	各コマに おける 授業予定	レジスタンストレーニング アイソトニックトレーニング				
第 18 回	授業を 通じての 到達目標	テキストにある各アイソトニックトレーニングについて理解し、作成 したプログラムを実践指導する。		・健康運動実践 指導者養成テキ スト ・配布資料 ・教材付属DVD	・テキストを精読する。 教材付属DVDを熟覧す る。	
	各コマに おける 授業予定	レジスタンストレーニング アイソトニックトレーニング プログラム作成/実践指導				
第 19 回	授業を 通じての 到達目標	アイソメトリックトレーニングについて基本を理解する		・健康運動実践 指導者養成テキ スト ・配布資料 ・教材付属DVD	・テキストを精読する。 教材付属DVDを熟覧す る。	
	各コマに おける 授業予定	レジスタンストレーニング アイソメトリックトレーニング				
第 20 回	授業を 通じての 到達目標	テキストにある各アイソメトリックトレーニングについて理解し、作 成したプログラムを実践指導する。		・健康運動実践 指導者養成テキ スト ・配布資料 ・教材付属DVD	・テキストを精読する。 教材付属DVDを熟覧す る。	
	各コマに おける 授業予定	レジスタンストレーニング アイソメトリックトレーニング プログラム作成/指導実践				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第21回	講義形式	授業を通じての到達目標	スクワットの基本を体験し、指導方法を理解修得する。	<ul style="list-style-type: none"> 健康運動実践指導者養成テキスト 配布資料 教材付属DVD 	<ul style="list-style-type: none"> テキストを精読する。 教材付属DVDを熟読する。
		各コマにおける授業予定	課題トレーニング実技①スクワット		
第22回	実習形式	授業を通じての到達目標	フォワードランジの基本を体験し、指導方法を理解修得する。	<ul style="list-style-type: none"> 健康運動実践指導者養成テキスト 配布資料 教材付属DVD 	<ul style="list-style-type: none"> テキストを精読する。 教材付属DVDを熟読する。
		各コマにおける授業予定	課題トレーニング実技②フォワードランジ		
第23回	実習形式	授業を通じての到達目標	プッシュアップの基本を体験し、指導方法を理解修得する。	<ul style="list-style-type: none"> 健康運動実践指導者養成テキスト 配布資料 教材付属DVD 	<ul style="list-style-type: none"> テキストを精読する。 教材付属DVDを熟読する。
		各コマにおける授業予定	課題トレーニング実技③プッシュアップ		
第24回	実習形式	授業を通じての到達目標	クランチの基本を体験し、指導方法を理解修得する。	<ul style="list-style-type: none"> 健康運動実践指導者養成テキスト 配布資料 教材付属DVD 	<ul style="list-style-type: none"> テキストを精読する。 教材付属DVDを熟読する。
		各コマにおける授業予定	課題トレーニング実技④クランチ		
第25回	実習形式	授業を通じての到達目標	バードドッグの基本を体験し、指導方法を理解修得する。	<ul style="list-style-type: none"> 健康運動実践指導者養成テキスト 配布資料 教材付属DVD 	<ul style="list-style-type: none"> テキストを精読する。 教材付属DVDを熟読する。
		各コマにおける授業予定	課題トレーニング実技⑤バードドッグ		
第26回	実習形式	授業を通じての到達目標	課題トレーニングを2種選択し、指導することができる。	<ul style="list-style-type: none"> 健康運動実践指導者養成テキスト 配布資料 教材付属DVD 	<ul style="list-style-type: none"> テキストを精読する。 教材付属DVDを熟読する。
		各コマにおける授業予定	課題トレーニング 説明と模範動作の習得		
第27回	実習形式	授業を通じての到達目標	課題トレーニング2種の指導と、フォームを修正することができる。	<ul style="list-style-type: none"> 健康運動実践指導者養成テキスト 配布資料 教材付属DVD 	<ul style="list-style-type: none"> テキストを精読する。 教材付属DVDを熟読する。
		各コマにおける授業予定	課題トレーニング 動作指導と修正指導の習得		
第28回	実習形式	授業を通じての到達目標	課題トレーニング2種を規定制限時間内に指導ができる。	<ul style="list-style-type: none"> 健康運動実践指導者養成テキスト 配布資料 教材付属DVD 	<ul style="list-style-type: none"> テキストを精読する。 教材付属DVDを熟読する。
		各コマにおける授業予定	課題トレーニング 総まとめ 模擬試験		
第29回	実習形式	授業を通じての到達目標	資格実技試験を模擬した、規定時間内の適切な指導をすることができる。	<ul style="list-style-type: none"> 健康運動実践指導者養成テキスト 配布資料 教材付属DVD 	<ul style="list-style-type: none"> テキストを精読する。 教材付属DVDを熟読する。
		各コマにおける授業予定	総まとめ		
第30回	講義形式	授業を通じての到達目標	資格実技試験を模擬した指導を完璧におこなうことができる。	<ul style="list-style-type: none"> 健康運動実践指導者養成テキスト 配布資料 教材付属DVD 	<ul style="list-style-type: none"> テキストを精読する。 教材付属DVDを熟読する。
		各コマにおける授業予定	期末試験(実技試験)		

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	柔道整復スポーツトレーナー		科 目 区 分	その他	授業の方法	講義実習
科 目 名	健康エクササイズ I		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	1年生		学期及び曜時間	前期	教室名	302教室 運生室
担 当 教 員	生田晶子	実務経験と その関連資格	健康運動指導士、NSCA-CPT			
《授業科目における学習内容》						
健康運動実践指導者として、運動指導現場に必要な知識と技術を学び理解する。						
《成績評価の方法と基準》						
素点 70% 出席評価点 20% 平常評価点 10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
健康運動実践指導者養成テキスト Reference Book(日本スポーツ協会) JATI養成者テキスト(実技編) 配布資料						
《授業外における学習方法》						
テキストを精読し、テキストにあるトレーニング例を予習復習として実施する						
《履修に当たっての留意点》						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第 1 回	講義 形式	授業を 通じての 到達目標	第1章を理解し認定試験に備えることができる	・健康運動実践 指導者養成テキ スト ・配布資料	テキストを精読する。	
		各コマに おける 授業予定	第1章 健康づくり施策概論①			
第 2 回	講義 形式	授業を 通じての 到達目標	第1章を理解し認定試験に備えることができる	・健康運動実践 指導者養成テキ スト ・配布資料	テキストを精読する。	
		各コマに おける 授業予定	第1章 健康づくり施策概論②			
第 3 回	実習 形式	授業を 通じての 到達目標	第2章を理解し認定試験に備えることができる	・健康運動実践 指導者養成テキ スト ・配布資料	テキストを精読する。	
		各コマに おける 授業予定	第2章 運動生理学①			
第 4 回	実習 形式	授業を 通じての 到達目標	第2章を理解し認定試験に備えることができる	・健康運動実践 指導者養成テキ スト ・配布資料	テキストを精読する。	
		各コマに おける 授業予定	第2章 運動生理学②			
第 5 回	実習 形式	授業を 通じての 到達目標	第2章を理解し認定試験に備えることができる	・健康運動実践 指導者養成テキ スト ・配布資料	テキストを精読する。	
		各コマに おける 授業予定	第2章 運動生理学③			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	実習形式	授業を通じての到達目標	第3章を理解し認定試験に備えることができる	<ul style="list-style-type: none"> 健康運動実践指導者養成テキスト 配布資料 	テキストを精読する。
		各コマにおける授業予定	第3章 機能解剖とバイオメカニクス①		
第7回	実習形式	授業を通じての到達目標	第3章を理解し認定試験に備えることができる	<ul style="list-style-type: none"> 健康運動実践指導者養成テキスト 配布資料 	テキストを精読する。
		各コマにおける授業予定	第3章 機能解剖とバイオメカニクス②		
第8回	実習形式	授業を通じての到達目標	第4章を理解し認定試験に備えることができる	<ul style="list-style-type: none"> 健康運動実践指導者養成テキスト 配布資料 	テキストを精読する。
		各コマにおける授業予定	第4章 栄養摂取と運動①		
第9回	実習形式	授業を通じての到達目標	第4章を理解し認定試験に備えることができる	<ul style="list-style-type: none"> 健康運動実践指導者養成テキスト 配布資料 	テキストを精読する。
		各コマにおける授業予定	第4章 栄養摂取と運動②		
第10回	実習形式	授業を通じての到達目標	第5章を理解し認定試験に備えることができる	<ul style="list-style-type: none"> 健康運動実践指導者養成テキスト 配布資料 	テキストを精読する。
		各コマにおける授業予定	第5章 運動指導の心理学的基礎①		
第11回	実習形式	授業を通じての到達目標	第5章を理解し認定試験に備えることができる	<ul style="list-style-type: none"> 健康運動実践指導者養成テキスト 配布資料 	テキストを精読する。
		各コマにおける授業予定	第5章 運動指導の心理学的基礎②		
第12回	実習形式	授業を通じての到達目標	第6章を理解し認定試験に備えることができる	<ul style="list-style-type: none"> 健康運動実践指導者養成テキスト 配布資料 	テキストを精読する。
		各コマにおける授業予定	第6章 体力測定と評価①		
第13回	実習形式	授業を通じての到達目標	第6章を理解し認定試験に備えることができる	<ul style="list-style-type: none"> 健康運動実践指導者養成テキスト 配布資料 	テキストを精読する。
		各コマにおける授業予定	第6章 体力測定と評価②		
第14回	実習形式	授業を通じての到達目標	第7章を理解し認定試験に備えることができる	<ul style="list-style-type: none"> 健康運動実践指導者養成テキスト 配布資料 	テキストを精読する。
		各コマにおける授業予定	第7章 健康づくりと運動プログラム①		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	第7章を理解し認定試験に備えることができる	<ul style="list-style-type: none"> 健康運動実践指導者養成テキスト 配布資料 	既定時間内にウォーキングのポイントを説明しながら指導を行なうことができるように練習をする。
		各コマにおける授業予定	第7章 健康づくりと運動プログラム②		

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	柔道整復スポーツトレーナー		科 目 区 分	その他	授業の方法	講義実習
科 目 名	健康エクササイズ I		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	1年生		学期及び曜時間	前期	教室名	302教室 運生室
担 当 教 員	生田晶子	実務経験と その関連資格	健康運動指導士、NSCA-CPT			
《授業科目における学習内容》						
健康運動実践指導者として、運動指導現場に必要な知識と技術を学び理解する。						
《成績評価の方法と基準》						
素点 70% 出席評価点 20% 平常評価点 10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
健康運動実践指導者養成テキスト Reference Book(日本スポーツ協会) JATI養成者テキスト(実技編) 配布資料						
《授業外における学習方法》						
テキストを精読し、テキストにあるトレーニング例を予習復習として実施する						
《履修に当たっての留意点》						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第 16 回	授業を 通じての 到達目標	第7章を理解して認定試験に備えることができる		・健康運動実践 指導者養成テキ スト ・配布資料	・テキストを精読する。 教材付属DVDを熟覧す る。	
	各コマに おける 授業予定	第7章 健康づくりと運動プログラム③				
第 17 回	授業を 通じての 到達目標	第7章を理解して認定試験に備えることができる		・健康運動実践 指導者養成テキ スト ・配布資料	・テキストを精読する。 教材付属DVDを熟覧す る。	
	各コマに おける 授業予定	第7章 健康づくりと運動プログラム④				
第 18 回	授業を 通じての 到達目標	第8章を理解して認定試験に備えることができる		・健康運動実践 指導者養成テキ スト ・配布資料	・テキストを精読する。 教材付属DVDを熟覧す る。	
	各コマに おける 授業予定	第8章 健康づくり運動①				
第 19 回	授業を 通じての 到達目標	第8章を理解して認定試験に備えることができる		・健康運動実践 指導者養成テキ スト ・配布資料	・テキストを精読する。 教材付属DVDを熟覧す る。	
	各コマに おける 授業予定	第8章 健康づくり運動②				
第 20 回	授業を 通じての 到達目標	第8章を理解して認定試験に備えることができる		・健康運動実践 指導者養成テキ スト ・配布資料	・テキストを精読する。 教材付属DVDを熟覧す る。	
	各コマに おける 授業予定	第8章 健康づくり運動③ 水泳・水中運動→※6/27水泳実習				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第21回	講義形式	授業を通じての到達目標	第8章を理解して認定試験に備えることが出来る	<ul style="list-style-type: none"> 健康運動実践指導者養成テキスト 配布資料 	<ul style="list-style-type: none"> テキストを精読する。教材付属DVDを熟読する。
		各コマにおける授業予定	第8章 健康づくり運動④		
第22回	実習形式	授業を通じての到達目標	第8章を理解して認定試験に備えることが出来る	<ul style="list-style-type: none"> 健康運動実践指導者養成テキスト 配布資料 	<ul style="list-style-type: none"> テキストを精読する。教材付属DVDを熟読する。
		各コマにおける授業予定	第8章 健康づくり運動⑤		
第23回	実習形式	授業を通じての到達目標	第8章を理解して認定試験に備えることが出来る	<ul style="list-style-type: none"> 健康運動実践指導者養成テキスト 配布資料 	<ul style="list-style-type: none"> テキストを精読する。教材付属DVDを熟読する。
		各コマにおける授業予定	第8章 健康づくり運動⑥		
第24回	実習形式	授業を通じての到達目標	第8章を理解して認定試験に備えることが出来る	<ul style="list-style-type: none"> 健康運動実践指導者養成テキスト 配布資料 	<ul style="list-style-type: none"> テキストを精読する。教材付属DVDを熟読する。
		各コマにおける授業予定	第8章 健康づくり運動⑦		
第25回	実習形式	授業を通じての到達目標	第8章を理解して認定試験に備えることが出来る	<ul style="list-style-type: none"> 健康運動実践指導者養成テキスト 配布資料 	<ul style="list-style-type: none"> テキストを精読する。教材付属DVDを熟読する。
		各コマにおける授業予定	第8章 健康づくり運動⑧ ※課題レジスタンストレーニング①		
第26回	実習形式	授業を通じての到達目標	第8章を理解して認定試験に備えることが出来る	<ul style="list-style-type: none"> 健康運動実践指導者養成テキスト 配布資料 	<ul style="list-style-type: none"> テキストを精読する。教材付属DVDを熟読する。
		各コマにおける授業予定	第8章 健康づくり運動⑨ ※課題レジスタンストレーニング②		
第27回	実習形式	授業を通じての到達目標	第9章を理解して認定試験に備えることが出来る	<ul style="list-style-type: none"> 健康運動実践指導者養成テキスト 配布資料 	<ul style="list-style-type: none"> テキストを精読する。教材付属DVDを熟読する。
		各コマにおける授業予定	第9章 運動障害と予防・救急処置①		
第28回	実習形式	授業を通じての到達目標	第9章を理解して認定試験に備えることが出来る	<ul style="list-style-type: none"> 健康運動実践指導者養成テキスト 配布資料 	<ul style="list-style-type: none"> テキストを精読する。教材付属DVDを熟読する。
		各コマにおける授業予定	第9章 運動障害と予防・救急処置②		
第29回	実習形式	授業を通じての到達目標	認定試験に向けて理解を深め確実に合格を目指す	<ul style="list-style-type: none"> 健康運動実践指導者養成テキスト 配布資料 	<ul style="list-style-type: none"> テキストを精読する。教材付属DVDを熟読する。
		各コマにおける授業予定	総まとめ		
第30回	講義形式	授業を通じての到達目標	認定試験に向けて理解を深め確実に合格を目指す	<ul style="list-style-type: none"> 健康運動実践指導者養成テキスト 配布資料 	<ul style="list-style-type: none"> テキストを精読する。教材付属DVDを熟読する。
		各コマにおける授業予定	総まとめ		

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	柔道整復スポーツトレーナー		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	社会保障制度		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	15 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	1年		学期及び曜時限	前期 月・2限	教室名	303教室
担 当 教 員	奥出 一貴	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
社会保障・社会保険制度・医療保険制度等の仕組み 柔道整復師業務における医療費 DVDやパワーポイントなど使用して視覚情報も取り入れる。						
《成績評価の方法と基準》						
定期試験 100%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
社会保障制度と柔道整復師の職業倫理 公益法人全国柔道整復学校協会 (医歯薬出版株式会社)						
《授業外における学習方法》						
教科書に沿って、本読みや事例を元に学習						
《履修に当たっての留意点》						
学生にはなじみのない制度のため、ゆっくりを授業を進める。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	実習形式	授業を通じての到達目標	DVD(厚生省)などで事前知識確認	社会保障制度と柔道整復師の職業倫理 公益法人全国柔道整復学校協会	もう一度復習	
		各コマにおける授業予定	社会保障とは 社会保障の3つの機能・あるべき社会と今後の社会保障			
第2回	実習形式	授業を通じての到達目標	社会保障の仕組みがわかる。	社会保障制度と柔道整復師の職業倫理 公益法人全国柔道整復学校協会	本読み	
		各コマにおける授業予定	社会保障制度とは 公的年金の意義・公的年金制度の仕組み			
第3回	実習形式	授業を通じての到達目標	年金等の仕組みがわかる。	社会保障制度と柔道整復師の職業倫理 公益法人全国柔道整復学校協会	本読み	
		各コマにおける授業予定	社会保障制度とは 介護保険の意義と仕組み 社会福祉・公的扶助・公衆衛生の意義と仕組み			
第4回	実習形式	授業を通じての到達目標	医療保険の制度がわかる。	社会保障制度と柔道整復師の職業倫理 公益法人全国柔道整復学校協会	本読み	
		各コマにおける授業予定	医療保険制度とは 医療保険の目的と意義・保険診療の概要			
第5回	実習形式	授業を通じての到達目標	医療現場や保険の現状がわかる	社会保障制度と柔道整復師の職業倫理	本読み	

第5回	省形式	各コマにおける授業予定	医療保険制度とは 医療保険財政の現状と課題・診療報酬制度	業倫理 公益法人全国柔道整復学校協会	本読み プリント
授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	実習形式	授業を通じての到達目標	医療費の仕組みや柔道整復の療養費がわかる。	社会保障制度と柔道整復師の職業倫理 公益法人全国柔道整復学校協会	本読み プリント
		各コマにおける授業予定	医療費制度の概要 医療費とは・柔道整復療養費		
第7回	実習形式	授業を通じての到達目標	今後の医療費の概要がわかる。	社会保障制度と柔道整復師の職業倫理 公益法人全国柔道整復学校協会	本読み プリント
		各コマにおける授業予定	医療費制度の概要 柔道整復療養費の推移・医療費の算定		
第8回	実習形式	授業を通じての到達目標	総合的に社会保障全般を理解する。	社会保障制度と柔道整復師の職業倫理 公益法人全国柔道整復学校協会	本読み プリント
		各コマにおける授業予定	療養費請求のケーススタディ・まとめ		

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	柔道整復スポーツトレーナー		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	柔道整復師の職業倫理		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	15 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	1年		学期及び曜時間	前期 月・2限	教室名	303教室
担 当 教 員	奥出 一貴	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
柔道整復師の職業倫理 パワーポイントなど使用しての視覚情報も取り入れる。						
《成績評価の方法と基準》						
定期試験 100%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
社会保障制度と柔道整復師の職業倫理 公益法人全国柔道整復学校協会 (医歯薬出版株式会社)						
《授業外における学習方法》						
教科書に沿って、本読みや事例を元に学習						
《履修に当たっての留意点》						
学生にはなじみのない倫理観のため、ゆっくりを授業を進める。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	実習形式	授業を通じての到達目標	職業の大まかな把握できる。	社会保障制度と柔道整復師の職業倫理 公益法人全国柔道整復学校協会	本読み復習	
		各コマにおける授業予定	医療従事者の職業倫理 職業倫理とは			
第2回	実習形式	授業を通じての到達目標	柔道整復師の倫理がわかる。	社会保障制度と柔道整復師の職業倫理 公益法人全国柔道整復学校協会	本読み復習	
		各コマにおける授業予定	柔道整復師に必要な基本的倫理観と患者への対応 患者への説明・守秘義務			
第3回	実習形式	授業を通じての到達目標	社会的責任や対応の仕方がわかる。	社会保障制度と柔道整復師の職業倫理 公益法人全国柔道整復学校協会	本読み復習	
		各コマにおける授業予定	柔道整復師の社会的責任と対応 (事例)患者への対応 I～IV			
第4回	実習形式	授業を通じての到達目標	事例に基づきディスカッションして事例研究	社会保障制度と柔道整復師の職業倫理 公益法人全国柔道整復学校協会	本読み復習	
		各コマにおける授業予定	グループ・ディスカッション事例			
第5回	実習形式	授業を通じての到達目標	個人情報について把握できる。	社会保障制度と柔道整復師の職		

5回	省形式	各コマにおける授業予定	医療における情報と責任 個人情報保護	業倫理 公益法人全国柔道整復学校協会	本読み復習
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	実習形式	授業を通じての到達目標	SNS問題が把握できる。	社会保障制度と柔道整復師の職業倫理 公益法人全国柔道整復学校協会	本読み復習
		各コマにおける授業予定	医療における情報と責任 SNS等での業務に関する情報発信での注意点		
第7回	実習形式	授業を通じての到達目標	倫理綱領がわかる。	社会保障制度と柔道整復師の職業倫理 公益法人全国柔道整復学校協会	本読み復習
		各コマにおける授業予定	職業倫理資料の確認・把握		
第8回	実習形式	授業を通じての到達目標	職業把握や職業倫理が説明できる。	社会保障制度と柔道整復師の職業倫理 公益法人全国柔道整復学校協会	本読み復習
		各コマにおける授業予定	医療従事者としての職業倫理・まとめ		

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	柔道整復スポーツトレーナー学科		科 目 区 分	基礎分野	授業の方法	実習
科 目 名	包帯固定法		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	1年		学期及び曜時間	前期 月1	教室名	実技実習室1
担 当 教 員	松澤 伸也	実務経験と その関連資格	柔道整復師免許・柔道整復師専科教員			
《授業科目における学習内容》						
座学にて固定・固定材料について理解する。 実技にて巻軸包帯の巻き戻し・基本包帯法・各部の技法を修得する。						
《成績評価の方法と基準》						
素点:100%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
包帯固定学 改訂第2版 南江堂						
《授業外における学習方法》						
出来るだけ毎日包帯に触れ、包帯法を練習する絶対数を増やす。						
《履修に当たっての留意点》						
包帯法は柔道整復師の業務の中で固定の基本となる。 包帯法の基礎を身に付け、分からないこと・出来ないことを放置するのではなく、解決してから次のステップに進む。						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	実習形式	授業を通じての到達目標	固定・固定材料について理解する。	包帯固定学 改訂第2版 包帯	授業範囲の復習	
	各コマにおける授業予定	オリエンテーション 固定 固定材料の種類				
第2回	実習形式	授業を通じての到達目標	巻軸帯の巻き方と注意事項を理解する。 巻軸帯の巻き戻しを通して包帯に慣れる。	包帯固定学 改訂第2版 包帯	授業範囲の復習 巻き戻しの練習	
	各コマにおける授業予定	巻軸帯の巻き方と注意事項 巻軸帯の巻き戻し				
第3回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本包帯法を理解し、巻くことができる。	包帯固定学 改訂第2版 包帯	授業範囲の復習 巻き戻しの練習 基本包帯法の練習	
	各コマにおける授業予定	基本包帯法				
第4回	実習形式	授業を通じての到達目標	肩部の技法の理解を理解し、巻くことができる。	包帯固定学 改訂第2版 包帯	授業範囲の復習 肩部の技法の練習	
	各コマにおける授業予定	肩部の包帯(上行麦穂帯・下行麦穂帯)				
第5回	実習形式	授業を通じての到達目標	肘部の技法の理解を理解し、巻くことができる。	包帯固定学 改訂第2版 包帯	授業範囲の復習 の技法の練習	
	各コマにおける授業予定	肘部の包帯(集合亀甲帯・離開亀甲帯)				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	実習形式	授業を通じての到達目標	前腕部の技法の理解を理解し、巻くことができる。	包帯固定学改訂第2版 包帯	授業範囲の復習 の技法の練習
		各コマにおける授業予定	前腕部の包帯(螺旋帯+折転帯)		
第7回	実習形式	授業を通じての到達目標	手関節部の技法の理解を理解し、巻くことができる。	包帯固定学改訂第2版 包帯	授業範囲の復習 の技法の練習
		各コマにおける授業予定	手関節部の包帯(上行麦穂帯・下行麦穂帯)		
第8回	実習形式	授業を通じての到達目標	手指部の技法の理解を理解し、巻くことができる。	包帯固定学改訂第2版 包帯	授業範囲の復習 の技法の練習
		各コマにおける授業予定	手指部の包帯(隻指帯・指ほうか帯・不全指帯・全指帯・指頭ほうか帯・総指ほうか指)		
第9回	実習形式	授業を通じての到達目標	上肢全体の技法の理解を理解し、巻くことができる。	包帯固定学改訂第2版 包帯	授業範囲の復習 上肢全体の技法の練習
		各コマにおける授業予定	上肢の包帯の復習		
第10回	実習形式	授業を通じての到達目標	股関節部・大腿部の技法の理解を理解し、巻くことができる。	包帯固定学改訂第2版 包帯	授業範囲の復習 股関節部の技法の練習 大腿部の技法の練習
		各コマにおける授業予定	股関節部の包帯(上行麦穂帯・下行麦穂帯) 大腿部の包帯(螺旋帯+折転帯)		
第11回	実習形式	授業を通じての到達目標	膝関節部・下腿部の技法の理解を理解し、巻くことができる。	包帯固定学改訂第2版 包帯	授業範囲の復習 膝関節部の技法の練習 下腿部の技法の練習
		各コマにおける授業予定	膝関節部の包帯(集合亀甲帯・離開亀甲帯) 下腿部(螺旋帯+折転帯)		
第12回	実習形式	授業を通じての到達目標	足関節部の技法の理解を理解し、巻くことができる。	包帯固定学改訂第2版 包帯	授業範囲の復習 足関節部の技法の練習
		各コマにおける授業予定	足関節部の包帯(上行麦穂帯・下行麦穂帯・集合亀甲帯・離開亀甲帯・開き三節帯・閉じ三節帯)		
第13回	実習形式	授業を通じての到達目標	足趾部の技法の理解を理解し、巻くことができる。	包帯固定学改訂第2版 包帯	授業範囲の復習 足趾部の技法の練習
		各コマにおける授業予定	足趾部の包帯(総指ほうか帯)		
第14回	実習形式	授業を通じての到達目標	下肢全体の技法の理解を理解し、巻くことができる。	包帯固定学改訂第2版 包帯	授業範囲の復習 下肢全体の技法の練習
		各コマにおける授業予定	下肢の包帯の復習		
第15回	実習形式	授業を通じての到達目標	全身の技法の理解を理解し、巻くことができる。	包帯固定学改訂第2版 包帯	授業範囲の復習 全身の技法の練習
		各コマにおける授業予定	全身の包帯の復習		

2025 年度 美作市スポーツ医療看護専門学校授業計画(シラバス)

学 科	柔道整復スポーツトレーナー		科 目 区 分	基礎分野	授業の方法	講義実習
科 目 名	臨床柔道整復学・各論Ⅱ 下肢		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	1年生		学期及び曜時限	前期 木3	教室名	302、実技室1
担 当 教 員	松澤 伸也	実務経験と その関連資格	柔道整復師、柔道整復師専科教員			
《授業科目における学習内容》 下肢における骨折、脱臼について、各論で学んだことを応用して、評価、応急処置、整復法、固定法、後療法が実践できるようなる。 このためにも、機能解剖学、損傷の発生机序、症状などの理論を繰り返し学習し、理解を深める。						
《成績評価の方法と基準》 定期試験及び実技試験にて評価する。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》 ・「柔道整復学・理論編 改訂第6版」全国柔道整復学校協会・教科書委員会編・南江堂 ・「柔道整復学・実技編 改訂第2版」全国柔道整復学校協会・教科書委員会編・南江堂 ・「運動療法のための機能解剖学的触診技術 下肢・体幹 改訂第3版」メジカルビュー社						
《授業外における学習方法》 ・予習は、次回授業に該当する範囲を必ず一読し、授業に望むようにして下さい。 ・復習は、ノートを確認し、次回の授業に望むようにして下さい。 ・実技については、講義時間外にも繰り返し練習して下さい。						
《履修に当たっての留意点》 欠席をしてしまうと、休んだ回の内容が完全に無い形で進んでしまうため、欠席が無いように心がけてください。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	実習形式	授業を通じての到達目標	大腿骨頸部骨折、大腿骨骨幹部骨折の評価法、応急処置法を理解、実践できる。	教科書、評価用備品、固定用備品など	予習 股関節周囲の骨のランドマーク、筋肉、神経の再確認 復習 ノートの読み直し 実技の自主練習	
		各コマにおける授業予定	評価法(医療面接、視診、触診など)			
第2回	実習形式	授業を通じての到達目標	大腿骨頸部骨折、大腿骨骨幹部骨折の評価法、応急処置法を理解、実践できる。	教科書、評価用備品、固定用備品など	予習 股関節周囲の骨のランドマーク、筋肉、神経の再確認 復習 ノートの読み直し 実技の自主練習	
		各コマにおける授業予定	評価法(医療面接、視診、触診など)			
第3回	実習形式	授業を通じての到達目標	大腿骨頸部骨折、大腿骨骨幹部骨折の評価法、応急処置法を理解、実践できる。	教科書、評価用備品、固定用備品など	予習 股関節周囲の骨のランドマーク、筋肉、神経の再確認 復習 ノートの読み直し 実技の自主練習	
		各コマにおける授業予定	評価法(医療面接、視診、触診など)			
第4回	実習形式	授業を通じての到達目標	股関節脱臼の評価法、応急処置法を理解、実践できる。	教科書、評価用備品、固定用備品など	予習 股関節周囲の骨のランドマーク、筋肉、神経の再確認 復習 ノートの読み直し 実技の自主練習	
		各コマにおける授業予定	評価法(医療面接、視診、触診など)			
第5回	実習形式	授業を通じての到達目標	股関節脱臼の評価法、応急処置法を理解、実践できる。	教科書、評価用備品、固定用備品など	予習 股関節周囲の骨のランドマーク、筋肉、神経の再確認 復習 ノートの読み直し 実技の自主練習	
		各コマにおける授業予定	評価法(医療面接、視診、触診など)			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	実習形式	授業を通じての到達目標	股関節脱臼の評価法、応急処置法を理解、実践できる。	教科書、評価用備品、固定用備品など	予習 股関節周囲の骨のランドマーク、筋肉、神経の再確認 復習 ノートの読み直し 実技の自主練習
		各コマにおける授業予定	評価法(医療面接、視診、触診など)		
第7回	実習形式	授業を通じての到達目標	大腿骨頸部骨折、大腿骨骨幹部骨折、股関節脱臼の評価法、応急処置法を理解、実践できる。	教科書、評価用備品、固定用備品など	予習 股関節周囲の骨のランドマーク、筋肉、神経の再確認 復習 ノートの読み直し 実技の自主練習
		各コマにおける授業予定	徒手整復法、搬送時の応急処置法		
第8回	実習形式	授業を通じての到達目標	大腿骨頸部骨折、大腿骨骨幹部骨折、股関節脱臼の評価法、応急処置法を理解、実践できる。	教科書、評価用備品、固定用備品など	予習 膝関節周囲の骨のランドマーク、筋肉、神経の再確認 復習 ノートの読み直し 実技の自主練習
		各コマにおける授業予定	徒手整復法、搬送時の応急処置法		
第9回	実習形式	授業を通じての到達目標	大腿骨頸部骨折、大腿骨骨幹部骨折、股関節脱臼の評価法、応急処置法を理解、実践できる。	教科書、評価用備品、固定用備品など	予習 膝関節周囲の骨のランドマーク、筋肉、神経の再確認 復習 ノートの読み直し 実技の自主練習
		各コマにおける授業予定	徒手整復法、搬送時の応急処置法		
第10回	実習形式	授業を通じての到達目標	下腿骨骨幹部骨折の評価法、応急処置法、固定法を理解、実践できる。	教科書、評価用備品、固定用備品など	予習 膝関節周囲の骨のランドマーク、筋肉、神経の再確認 復習 ノートの読み直し 実技の自主練習
		各コマにおける授業予定	評価法(医療面接、視診、触診など)		
第11回	実習形式	授業を通じての到達目標	下腿骨骨幹部骨折の評価法、応急処置法、固定法を理解、実践できる。	教科書、評価用備品、固定用備品など	予習 膝関節周囲の骨のランドマーク、筋肉、神経の再確認 復習 ノートの読み直し 実技の自主練習
		各コマにおける授業予定	評価法(医療面接、視診、触診など)		
第12回	実習形式	授業を通じての到達目標	下腿骨骨幹部骨折の評価法、応急処置法、固定法を理解、実践できる。	教科書、評価用備品、固定用備品など	予習 下腿部周囲の骨のランドマーク、筋肉、神経の再確認 復習 ノートの読み直し 実技の自主練習
		各コマにおける授業予定	評価法(医療面接、視診、触診など)		
第13回	実習形式	授業を通じての到達目標	下腿骨骨幹部骨折の評価法、応急処置法、固定法を理解、実践できる。	教科書、評価用備品、固定用備品など	予習 下腿部周囲の骨のランドマーク、筋肉、神経の再確認 復習 ノートの読み直し 実技の自主練習
		各コマにおける授業予定	評価法(医療面接、視診、触診など)		
第14回	実習形式	授業を通じての到達目標	下腿骨骨幹部骨折の評価法、応急処置法、固定法を理解、実践できる。	教科書、評価用備品、固定用備品など	予習 下腿部周囲の骨のランドマーク、筋肉、神経の再確認 復習 ノートの読み直し 実技の自主練習
		各コマにおける授業予定	応急処置法、固定法		
第15回	実習形式	授業を通じての到達目標	下腿骨骨幹部骨折の評価法、応急処置法、固定法を理解、実践できる。	教科書、評価用備品、固定用備品など	予習 下腿部周囲の骨のランドマーク、筋肉、神経の再確認 復習 ノートの読み直し 実技の自主練習
		各コマにおける授業予定	応急処置法、固定法		